

第29回東広島 市民スポーツ大会

球技の部のガンバリで 総合6位入賞 上位進出は 後継者育成の成果



決勝に進出したゲートボールチーム



グラウンドゴルフチーム
今年は男性がんばる



ソフトボールチーム
子どもたちの声援でがんばる

特にソフトボールとゲートボールとも若い力の起用と練習

に上り入賞した。競技の結果は、グラウンドゴルフとソフトボールは共に3位に、ゲートボールは決勝トーナメントに進む快挙を成し遂げた。



ともに3位入賞

6月4日学校区は八本松小

大会は35小学校区から応援も含め3千人が参加。場で行われた。

8月20日第29回東広島市民スポーツ大会球技の部(ゲートボール、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール)が東広島運動公園陸上競技場他4会場で行われた。



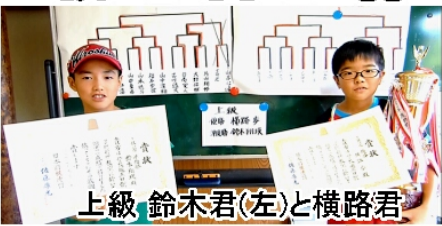
善戦したソフトバレーボールチーム



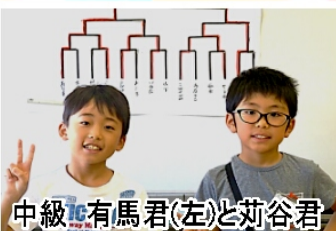
の強化が功を奏した。競技終了後、八本松南集会所での反省会では、競技の様子を記録したビデオや写真が放映され、がんばっている姿に拍手が送られ、映像を基に競技の分析や改善策など早くも来年へ向けての作戦が話し合われていた。最後に、西崎部長は「皆さん暑い中、有難うございました。来年も皆さんこそって参加していただき、優勝しましょう」と挨拶。

初心者急増し、大盛況 熱戦相次ぐ

第14回こども将棋名人戦 子ども将棋教室 週五日制対応行事



上級 鈴木君(左)と横路君



中級 有馬君(左)と苅谷君



初級 山中君(左)と大野君

特に初級の部は43名の参加があり6戦戦わなければ優勝できない盛況ぶり。優勝した山中君も準優勝の大野君も「楽しかったです」と即答。中級は3年生の苅谷君が準優勝の有馬君を接戦で制し、「日頃の練習の成果が出ました」と勝因を語った。

青少年育成部会は9月2日地域センターで「第14回こども将棋名人戦」を開催。集まった子供たちは実に例年の5割増しの61名。

上級はリーグ戦で一位が2人となり友情で順位が決まる大熱戦。優勝した横路くんも準優勝の鈴木君もお互いを称え「今度またやろう」と話していた。審判にあたられた日本将棋連盟東広島支部の麓さんは「大熱戦が多く、元気をもらいました。今後も頑張ってください」と子どもたちにエールを送った。

地域トピックス

八小夏祭り盆踊り大会

1500人参加 子どもたちや若者でヒートアップ 伝統を守った今年二十歳の八小卒業生



八本松小学校区夏祭り盆踊り大会が8月15日八本松小学校グラウンドで行われた。この盆踊り大会は、その年二十歳になった八本松小学校の卒業生が地域の応援を得て主催するもので40年以上継続されている。

特に今回は早朝の悪天候のためグラウンド整備や宣伝カーによる広報等の努力があった。幸い、天候も持ち直し参加者は昨年を上回る約千五百人(子ども約五百人)にのぼる大イベントとなった。

屋台やゲームコーナーも浴衣姿の子どもたちや若い参加者が列をなしながら楽しい会話が進んでいた。運営にあたった八小第35回卒業生(約30名)も受付、ゲームのアシスト、屋台の調理と販売等最後まで

笑顔で対応していた。イベントでは伝統の盆踊りと花火の他ステージで子どもたちや若い方向けのダンスやバンド演奏等のパフォーマンスが参加者を交えて繰り広げられ盛り上がり、一昔前の盆踊りからの進化が見られた。運営にあたった卒業生に感想を聞くと、「ぶっつけ本番でやりました。ほとんど疲れていません」と若者らしい元気な返事が返ってきた。



始まったばかりの盆踊り大会の会場(八本松小学校グラウンド)

地域トピックス

家庭的な喜劇の会が好評で「交歓の夕べ」

腕相撲でふれあい 大山ハイツ「交歓の夕べ」

8月26日大山ハイツふれあい祭「交歓の夕べ」(主催大山ハイツ自治会 会長西本達夫)が八本松西集会所で行われた。

この祭りの最大の特徴は、幼児からお年寄りまで参加できる腕相撲大会。この日は三百人(うち子ども60人)の参加者から子ども16人、大人26人が力比べ。応援にも力が入った。

また、この祭りは大山地区の皆さんが歓談する場として設けられ

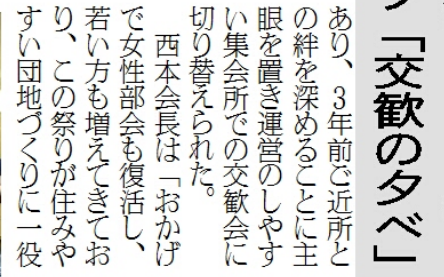
女性部会がカレーやフランクフルトなどの料理で支援するなど家庭的な雰囲気ではあるが話に花が咲き、子供たちも自由に遊び回っていた。受付をされていた自治会の方(女性の班長さん方)に聞いてみると「最近若い方が入居されるようになり団地も若返っています」と回答。

この団地ができて40年、高齢化も進み以前のような盆踊り主体の夏祭りの運営に無理が

ナタを使って竹箒を作り、用意された4台のそうめん流し台から流されるそうめん(小豆島の逸品)を自前の竹箒でぼろり。友達みんなで「きたよ、きたよ」と声を上げてそうめん流しを楽しんでいた。

閉会式で感想を聞かれた子どもたちは「竹を切ったり割ったりするのが難しかったが上手に出来ました」と初体験を語った。

主催した代表の藤村さんも「始めるまでは不安でしたが、子どもたちが楽しく食べている姿にほっとしています。協力していただいた皆さんに感謝します」と述べた。



小学生男子高学年決勝

力のあるシニアの部決勝

なんと、水入りの大勝負にやんやの応援

かっています」と語った。

地域トピックス

八小5年PTTC そうめん流し 小豆島の逸品

青少年育成会応援

9月3日(日)八本松小学校5年生のPTTC(代表藤村純子さん)は青少年育成会とおやじの会の協力を得て小学校でそうめん流しを行った。少し曇りながらも和らぎ屋外活動には絶好の天候に恵まれ5年生の児童、きょうだい、保護者の皆さん約240人が参加。子どもたちはおやじの会の皆さんの指導のもと慣れない手つきでノコギリや



ノコギリの協働作業



そうめん流し